

## 日独友好の鐘

冶金家クルト・ネッターの尽力により、日本の小坂町とドイツのフライベルク市は、永遠の絆で結ばれました。明治6年（1873年）に来日して以来、ネッターは鉱業の発展に協力します。ネッターの偉大な功績により日本の近代化が後押しされ、歴史にその名を残すことになりました。

「樹恩の鐘」と名付けられた鐘は、不朽のメッセージを世界に伝えています。

「永遠に自然を愛し、自然の恵みに感謝する」